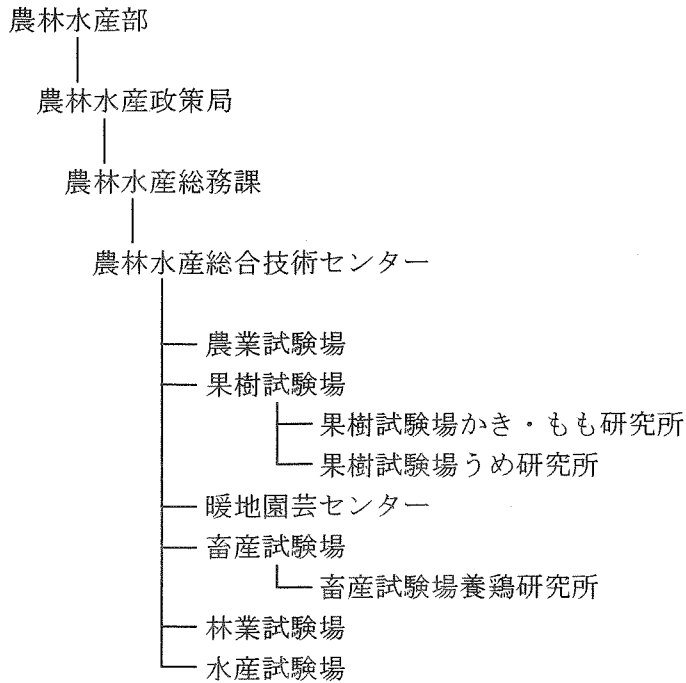


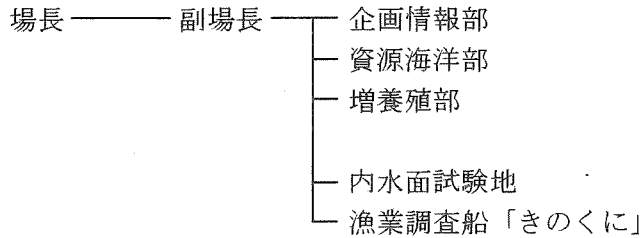
# 水産試験場概要

## I 機構と組織

### 1) 機構



### 2) 内部組織



### 3) 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場 長		1		1
副 場 長		1		1
企画情報部		2	2	4
資源海洋部		7		7
増 養 殖 部		7	2	9
内水面試験地		4	1	5
漁業調査船	7			7
	7	22	5	34

4) 職員と職務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	竹内 照文	場の総合企画及び総括
	副場長	木村 創	場の総括補佐、人事、服務、庁舎の管理 予算の総括
企画情報部	部 長 (副場長兼務)	木村 創	部の総括・企画調整
	主任研究員	小久保友義	成果の普及・公表、人工衛星、人工魚礁の 効果調査に関する事
	主任研究員	奥山 芳生	浅海域の環境変化の関すること
	用務員	田所 恵子	庁舎内外の清掃及び雑務
	用務員	田中 千秋	庁舎内外の清掃及び雑務
資源海洋部	部 長	芳養 晴雄	部の総括・企画調整
	主任研究員	中地 良樹	海洋観測、黒潮変動に関する事
	主任研究員	武田 保幸	高度回遊性魚類・まき網漁業に関する事
	副主査研究員	御所 豊穂	卵稚仔調査と漁場長期予報に関する事
	副主査研究員	安江 尚孝	定置網、船曳網漁業に関する事
	副主査研究員	土居内 龍	資源管理・小型底曳き漁業に関する事
	副主査研究員	竹内 淳一	週報並びに曳き縄漁業に関する事
増養殖部	部 長	坂本 博規	部の総括・企画調整
	主任研究員	濱地 寿生	種苗生産・養殖技術に関する事
	主査研究員	山内 信	藻場造成・藻類養殖に関する事
	主査研究員	諏訪 剛	低コスト飼料開発に関する事
	副主査研究員	小川 健	魚病・飼料開発に関する事
	副主査研究員	堅田 昌英	魚病対策・魚類防疫に関する事
	研究員	井川 拓也	魚類の種苗生産に関する事
	現業技能員	佐々木明生	調査研究の補助
	現業技能員	下屋敷 功	設備の保守管理
内水面試験地	主任研究員	藤井 久之	アユ資源並びに冷水病に関する事
	副主査研究員	高橋 芳明	魚類の防疫対策に関する事
	副主査研究員	中山 仁志	アマゴ資源に関する事
	副主査研究員	大林 幸造	アユ資源・魚類の防疫対策に関する事
	現業技能員	佐竹 巧三	施設整備に関する事
漁業調査船 (きのくに)	船 長	東田 和行	船舶の管理、運航及び海洋調査に関する事
	機関長	辻 正弘	〃
	副主査航海士	小西 寛弥	〃
	副主査機関士	平見 謹一	〃
	副主査航海士	鳥居 英希	〃
	副主査航海士	河田 進一	〃
	副主査機関士	住谷 勝志	〃

## II 業務

### 1) 試験研究項目一覧

事業名	予算額 (千円)	財源内訳 (千円)			
		国庫補助	国庫委託	雑入	一般財源
水産試験場費	86,697	1,270	10,998	21,812	52,617
水産試験場運営	17,348				17,348
内水面試験地運営	4,697			1,675	3,022
調査船運航	7,311				7,311
高度回遊性魚類調査	3,200			3,200	
漁業資源・漁場調査と情報提供	15,039	270		12,737	2,032
漁場長期予報 さきどり!	5,257				5,257
梅酢のマダイ飼料への利用効果試験	3,200			3,200	
沿岸性高級魚類の増養殖技術の開発	480				480
低コスト飼料・効率的生産手法開発	10,998		10,998		
造成藻場食害対策試験	3,025			1,000	2,025
養殖衛生管理体制整備	2,000	1,000			1,000
アユ資源復元	1,987				1,987
紀州の本クエブランド化に向けたクエ 種苗生産安定化技術開発	7,834				7,834
シラスの漁場形成機構の解明と漁業者 への情報提供	771				771
海水温上昇に伴う水産業への影響評価 並びに適応策の検討	2,000				2,000
アマゴ在来個体群の保護と遊漁利用を 両立するための基礎調査	1,550				1,550
水産業振興費	10,784				10,784
資源管理課	2,367				2,367
水産振興課	8,417				8,417
漁業調整費	71				71
沿岸漁業構造改善費	821				821
沿岸漁業改善資金	24				24
	98,397	1,270	10,998	21,812	64,317

## III 業績

### 1 外部に発表した事項

#### 1) 学会誌等論文

内容	発表者	雑誌名
Seasonal variability in growth of larval Japanese anchovy <i>Engraulis japonicus</i> driven by fluctuation in sea temperature in the Kii Channel, Japan.	N.Yasue A. Takasuka	Journal of Fish Biology 74(10),2250-2268(2009)

生殖腺の組織学的観察による紀伊半島南西岸におけるイサキの成熟年齢、産卵期、産卵頻度の推定	土居内 龍 吉本 洋	日本水産学会誌 74(10), 819-827 (2009)
Diet of late larvar Japanese anchovy <i>Engraulis japonicus</i> in the Kii Channel, Japan.	N.Yasue R.Doichi Y.Yoshimoto T.Takeda	Fisheries Science 76(1),63-73(2010)
アイゴの摂餌行動に及ぼすクロメ密度の影響について	山内 信 木村 創 高橋 芳明 野田 幹生	水産増殖 57(3), 429-435(2009)
Seasonal changes in proteomic profiles of Japanese kelp: <i>Saccharina japonica</i> .	Y.Yotukura K.Nagai H.Kimura K.Morimoto	Japan Applied Phycology Published online:14 October 2009
有田川における在来魚の冷水病菌状況とカワムツから分離された冷水病菌のアユに対する病原性	藤井 久之 原田 慈雄 小峠 利勝	水産増殖 57(4), 621-622(2009)

## 2) 学会等の口頭発表

表 題	発表者	学会名等
・ヒジキ場造成の阻害要因について	山内 信	2009年日本応用藻類学会 第8回春季シンポジウム
・海水温上昇によるコンブ目植物の交配による 磯焼けの克服	田中 俊充	2009年日本応用藻類学会 第8回春季シンポジウム
・遡上アユに含まれる他河川由来個体の成長について	高橋 芳明	2009年度日本水産学会春季講演

## 3) 一般雑誌

題 名	発表者	発表雑誌
・複合養殖に適した藻類の探索とその水質浄化効果 マダイ+複数藻類による負荷軽減と所得増	奥山 芳生	アクアネット
・マダイへの梅酢投与による抗病性向上効果	堅田 昌英	月刊 養殖
・和歌山県におけるイサキ・マルアジの資源管理	土居内 龍 武田 保幸	黒潮の資源海洋研究

## 4) 書 籍

題 名	発表者	発表誌
藻場造成の現状と問題点 －和歌山県沿岸－	木村 創	カジメ属の生態系と藻場造成 能登谷正浩著編・恒星車社厚生閣

カジメ属の生物特性 －和歌山県沿岸－	田中 俊充	カジメ属の生態系と藻場造成 能登谷正浩著編・恒星車社厚生閣
-----------------------	-------	----------------------------------

5) 和歌山県農林水産総合技術センター水産試験場研究報告 第1号 発行

内 容

- ・紀伊水道におけるマルアジの成熟特性 土居内龍・内海遼一
- ・紀伊水道東部海域におけるマアナゴの漁獲状況と仔魚の出現について 内海遼一
- ・アイゴのカジメ類に対する摂餌率の日変化と季節変化 山内 信・木村 創  
高橋芳明
- ・ブリ幼魚の給餌に伴う窒素、リンの排出とセイヨウオゴノリによる吸収 高橋芳明・奥山芳生  
濱地寿生・木村 創
- ・海産魚白点虫 *Cryptocaryon irritans* の動態 堅田昌英

6) 委託事業報告書等刊行物

- (1) 漁海況速報 (週刊)
- (2) 沖合黒潮調査速報 (黒潮横断観測実施ごと発行、2009-No. 4～9)
- (3) 人工衛星画像海況速報 (2009-No. 39～117、2010-No. 1～18)

7) 農林水産省研究会資料等

題 名	発表者	発表誌
・平成21年度国際資源対策推進委託事業第1回カツオ・ビンナガSG推進 検討会 (ビンナガ資源来遊動向検討会)	武田 保幸 御所 豊穂	同会議資料
・瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁海況予報会議	安江 尚孝	同会議資料
・平成21年度国際資源対策推進委託事業第2回カツオ・ビンナガSG推進 検討会 (カツオ長期来遊資源動向検討会)	御所 豊穂	同会議資料
・平成21年度中央ブロック資源評価会議および太平洋イワシ、アジ、サ バ等長期漁海況予報会議	中地 良樹 武田 保幸 御所 豊穂 安江 尚孝 土居内 龍	同会議資料
・平成21年度瀬戸内海ブロック資源評価会議	土居内 龍	同会議資料
・平成21年度中央ブロック資源・海洋研究会	中地 良樹 武田 保幸 土居内 龍	同会議資料
・第1回資源回復計画行政・研究担当者会議	芳養 晴雄	同会議資料
・平成21年度中央ブロック資源・海洋研究会	中地 良樹 武田 保幸 土居内 龍	同会議資料
・平成21年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	堅田 昌英	同会議資料
・平成21年度度磯焼け対策全国協議会	山内 信	同会議資料
・平成21年度漁場環境保全関係研究開発特別部会 赤潮・貝毒部会	諏訪 剛	同会議資料

・第9回南海・瀬戸内海洋調査技術連絡会	中地 良樹	同会議資料
・平成21年度養殖衛生管理体制整備事業太平洋ブロック地域合同検討会	堅田 昌英	同会議資料
・平成21年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部 会藻類情報交換会	山内 信	同会議資料
・平成21年度持続的養殖生産・供給推進委託事業（低コスト・効率的生 産手法開発事業）中間報告会	諏訪 剛	同会議資料
・平成21年度魚病症例研究会	濱地 寿生	同会議資料
・平成21年度クエ・マハタ種苗生産研究会	堅田 昌英	同会議資料
	濱地 寿生	同会議資料
	井川 拓也	
・第2回太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議	中地 良樹	同会議資料
	武田 保幸	
	安江 尚孝	
	芳養 晴雄	同会議資料
・第2回資源回復計画行政・研究担当者会議	中地 良樹	同会議資料
・第39回関東・東海ブロック水産海洋連絡会平成21年度関東・東海海況 速報担当者会議	武田 保幸	同会議資料
・平成21年度磯焼け対策全国協議会・磯焼け対策 ワーキンググループ	山内 信	同会議資料
・平成21年度国際資源対策推進委託事業マグロ・カツオグループ日本周 辺国際魚類資源調査委託事業報告会	武田 保幸	同会議資料
・平成21年度国際資源対策推進委託事業第3回カツオ・ビンナガSG推進 検討会、平成21年度太平洋沿岸カツオワークショップ	御所 豊穂	同会議資料
・平成21年度瀬戸内海東部海域オニオコゼ等資源回復等対策事業の海域 協議会	坂本 博規	同会議資料
	芳養 晴雄	
	土居内 龍	
・平成21年度持続的養殖生産・供給推進委託事業（低コスト・効率的生 産手法開発事業）結果報告会	諏訪 剛	同会議資料
・平成21年度溪流資源増大技術開発事業第1回検討委員会	濱地 寿生	同会議資料
	高橋 芳明	同会議資料
	中山 仁志	
・平成21年度溪流資源増大技術開発事業第2回検討委員会	高橋 芳明	同会議資料
	中山 仁志	
・平成21年度アユ疾病研究部会	藤井 久之	同会議資料
・平成21年度アユ資源研究部会	高橋 芳明	同会議資料
・平成21年度溪流資源増大技術開発事業第3回検討委員会	高橋 芳明	同会議資料
	中山 仁志	

## 8) 新聞掲載

記事見出し（内容）	載年月日	掲載誌名
・梅酢で健康優良マダイ 「病気に強い」と証明	2009. 4. 11	紀伊民報
・在来アマゴの遺伝子守れ 河川で探索始める	2009. 4. 13	紀伊民報
・梅酢 マダイ給餌し高値 肉質、抗病性が向上	2009. 4. 24	日本農業新聞
・串本沖でオキトビ捕獲	2009. 5. 15	紀伊民報
・梅酢を与えた「梅まだい」 全国ブランドに	2009. 5. 23	紀伊民報
・激減ヒジキ復活へ 地元漁師が磯磨く	2009. 6. 1	紀伊民報
・串本に種苗生産施設	2009. 6. 13	紀伊民報

・梅酢を与えた養殖マダイ ブランド化へ	2009. 6. 17	KIPPO NEWS
・音で魚撃退 藻の食害防げ	2009. 6. 25	紀伊民報
・魚の分類を体験 灘中・灘高生物部16人	2009. 8. 6	紀伊民報
・イガミの主食は海藻	2009. 9. 5	紀伊民報
・クエの種苗35,500尾生産 2年連続で量産に成功	2009. 9. 29	紀伊民報
・水流やえさを改良 クエ種苗生産の安定化へ前進	2009. 9. 28	わかやま新報
・クエの稚魚2年続き量産に成功	2009. 10. 16	紀州新聞
・刺激音で魚撃退 実用化にめど	2009. 11. 7	紀伊民報
・養殖漁業の対策会議	2009. 12. 17	紀伊民報
・カツオこの時期に？豊漁	2009. 12. 18	読売新聞
・クエの生態本格調査 稚魚にタグ	2009. 12. 19	紀伊民報
・ウメマダイの抗病性など	2009. 12. 22	南紀州新聞
・売り出せ県産ヒロメ 関係者が協議会発足	2010. 1. 9	紀伊民報
・「美しくなって減る」漁獲量	2010. 1. 15	紀伊民報
・食害防ぐ音・電流で	2010. 1. 20	朝日新聞
・ここ数年で最多予測 不振一掃を期待	2010. 1. 28	紀伊民報
・磯焼け対策で意見交換 漁師と水産庁職員	2010. 2. 05	紀伊民報
・低魚粉飼料で養殖 安価な餌開発へ	2010. 2. 12	紀伊民報
・大きな餌が好き 県水試が食べ物調査	2010. 2. 15	紀伊民報

## 9) 研究発表会

### (1) 養殖衛生対策会議

#### ①日 時

平成 22 年 12 月 22 日

#### ②場 所

農林水産総合技術センター水産試験場学習ホール

#### ③内 容

- ・梅酢投与マダイの抗病性について  
(発表者：水産試験場 副主査研究員 堅田昌英)
- ・水産用医薬品の適正使用について  
(発表者：水産試験場 副主査研究員 堅田昌英)
- ・養殖用飼料の低魚粉化について  
(発表者：水産試験場 主査研究員 諏訪 剛)
- ・クエの増養殖について  
(発表者：水産試験場 研究員 井川拓也)
- ・ヒロメ養殖の注意点について  
(発表者：水産試験場 主査研究員 山内 信)

### (2) 水産試験場成果発表会

#### ①日 時

平成 22 年 2 月 12 日

#### ②場 所

ガーデンホテル ハナヨ

#### ③共 催

わかやま産業振興財団

④内 容

基調講演 藻場造成の課題 東京海洋大学 教授 能登谷正浩

成果発表

- ・ 漁場長期予報の可能性  
(発表者：資源海洋部 副主査研究員 御所豊徳)
- ・ シラスは何を食べる  
(発表者：資源海洋部 副主査研究員 安江尚孝)
- ・ 平成 21 年度クエ種苗生産について  
(発表者：増養殖部 主任研究員 濱地寿生)
- ・ 藻場造成における食害対策について  
(発表者：増養殖部 主査研究員 山内 信)
- ・ 梅酢投与マダいの抗病性  
(発表者：増養殖部 副主査研究員 堅田昌英)
- ・ アユ資源の安定に向けて  
(発表者：内水面試験地 副主査研究員 高橋芳明)

10) 研修生・見学者の受け入れ

(1) 研修生の受け入れ

氏 名	所 属	研 修 内 容	期 間
金良 洙	近畿大学浦神実験場	養殖に関する研究	6.23～9.30
深海 勝矢	串本西中学校	職場体験学習	7.30～8.5
苫谷 駿輝	和歌山工業高等専門学校	インターンシップ制度による研修	8.3～8.14
山口 甫健	和歌山大学システム工学部	インターンシップ制度による研修	8.17～8.21
濱田 和希	串本中学校	職場体験学習	10.19～10.23
萩坂 涼	串本中学校	職場体験学習	10.19～10.23
中井 秀俊	潮岬中学校	職場体験学習	11.9～11.13
泊 大	田原中学校	職場体験学習	11.9～11.13
深海 翼	串本古座高等学校	職場体験学習	1.29
和田 佑輔	串本古座高等学校	職場体験学習	1.29

(2) くろしおふれあい講座

①参加者

きのくにふれあいバス、県下小中高等学校、灘中高等学校、福山市立城南中学校、ながみね小畑農協女性部、紀美野町生活研究会、農業大学校、松下青年塾  
以上 821 名

②内 容

魚の分類、海の幸料理・加工、海藻の分類



## (3) 見学者

月	漁業関係		学校関係		行政関係		県民一般		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	7	1	3	6	28	2	5	10	43
5	2	22	3	101	3	30	1	25	9	178
6	0	0	0	0	2	11	1	21	3	32
7	0	0	0	0	3	29	3	100	6	129
8	0	0	0	0	3	17	4	40	7	57
9	1	10	2	76	5	34	1	4	9	124
10	0	0	1	3	4	48	3	116	8	167
11	0	0	0	0	1	8	1	38	2	46
12	1	40	0	0	1	9	2	8	4	57
1	1	5	0	0	0	0	1	13	2	18
2	0	0	0	0	3	141	2	48	5	189
3	1	8	0	0	2	19	1	12	4	39
計	7	92	7	183	33	374	22	430	69	1,079

